



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月10日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3175 URL http://www.apcompany.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(6435)8440
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,138	27.5	600	73.3	690	60.0	406	81.4
26年3月期第2四半期	7,166	36.6	346	2.8	431	18.7	224	△0.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 397百万円 (78.6%) 26年3月期第2四半期 222百万円 (△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	54.74	—
26年3月期第2四半期	30.17	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,371	2,943	28.1
26年3月期	9,695	2,519	25.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,919百万円 26年3月期 2,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,300	28.5	1,323	29.0	1,445	16.2	855	26.6	115.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	7,427,850株	26年3月期	7,427,850株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	185株	26年3月期	185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	7,427,665株	26年3月期2Q	7,427,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記	10
(継続企業の前提に関する注記事項)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、政府の景気対策等の効果が下支えする中、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、個人消費におきましては平成26年4月の消費税率の引き上げに伴う影響が継続しております。

国内の外食産業においては、消費税増税や人材不足、為替変動による輸入商品価格の上昇などによるコスト増の影響が徐々にでてきていると思われまます。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費環境の変化が見込まれることに対応し、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスの更なる強化に取り組んでまいりました。また、「日本の食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、優秀な人材の確保及び教育、生産地の開拓及び生産者との継続的な深い関わりによる商品力の強化、日本全国の大都市圏を中心とした新規出店を継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当社の連結業績は順調に推移しており、第2四半期連結累計期間における売上高は9,138百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益は600百万円（前年同期比73.3%増）、経常利益は690百万円（前年同期比60.0%増）、四半期純利益は406百万円（前年同期比81.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。

「塚田農場」ブランド店舗の店舗数増加により、地鶏の生産量の増加及び取扱い青果物の増加傾向が続いており、生産流通事業の売上高及び利益が順調に推移する要因となっております。このうち特に鹿児島県の地鶏の生産量の増加に対応するため、子会社の㈱カゴシマバンズにおいて平成26年8月より、鹿児島県霧島市の生産加工場が稼働を開始しました。

また鮮魚については、日本全国に取引先を拡大しており、子会社の㈱セブンワークにおける羽田センターの取扱量が徐々に拡大しております。今後、鮮魚事業における出店を再開することを予定しており、さらに拡大していく見込です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,416百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益は119百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗を運営しております。

当第2四半期連結累計期間の「塚田農場」ブランドの店舗を中心に既存店舗の売上が、前年同期比95.5%となりました。前年度の既存店売上高がテレビ放映効果で一時的な上ブレがあったことを考慮すると、順調な推移となっております。

一方、当四半期連結累計期間において「塚田農場」ブランド店舗を9店舗出店し、当期末時点で直営店舗数は139店舗となりました。継続して店舗数は増加しておりますが、上半期の不動産市況の状況により、東京での新規出店数は前期より減少しております。

なお、上記店舗数とは別に平成26年8月に新鮮組フードサービス㈱を買収し子会社化しました。これにより東京周辺での店舗数が11店舗増加しており、今後の業績拡大に寄与していく見込です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,617百万円（前年同期比28.9%増）、セグメント利益は482百万円（前年同期比85.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,371百万円（前連結会計年度比676百万円の増加）となりました。これは主に販売事業における新規出店により、有形固定資産及び差入保証金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,943百万円（前連結会計年度比423百万円の増加）となりました。これは主に四半期純利益406百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は28.1%（前連結会計年度比2.2ポイント増）となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前連結会計年度末より6百万円増加し、3,834百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は477百万円となりました。これは主に税引前連結四半期純利益666百万円及び減価償却費300百万円による増加と、法人税等の支払額370百万円による減少によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は693百万円となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出531百万円と、保証金の差入による支出97百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は227百万円となりました。これは主に、新規出店資金の調達のための長期借入による収入960百万円と長期借入金の返済639百万円の差額によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月13日に公表しました平成27年3月期の通期の業績予想に変更はありません。

平成27年3月期の第2四半期累計期間の実績については、既存店の営業が順調に推移しており店舗の利益率が向上していることと、子会社の生産流通事業における生産及び仕入価格の安定、および第2四半期出店予定の店舗が第3四半期となったための出店コストの期ずれにより見込んでいたコストが発生しなかったため等の理由により、各利益水準は予想数値を超えて着地致しました。

通期業績予想につきましては、天候不順などの理由による仕入価格の変動や上記期ずれの新規出店による出店経費が第3四半期に発生する見込のため、予想金額を据え置きとしております。

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第2四半期実績	平成27年3月期 第2四半期予想	対予想 増減額
売上高	9,138	9,200	△62
営業利益	600	470	+130
経常利益	690	540	+150
当期純利益	406	310	+96

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,827,806	3,834,419
売掛金	501,911	467,020
たな卸資産	434,062	572,373
繰延税金資産	133,977	132,623
その他	201,528	219,370
貸倒引当金	△4,609	△4,384
流動資産合計	5,094,677	5,221,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,201,669	3,693,248
減価償却累計額及び減損損失累計額	△894,958	△1,177,137
建物及び構築物(純額)	2,306,711	2,516,110
工具、器具及び備品	1,317,838	1,446,922
減価償却累計額及び減損損失累計額	△655,106	△789,698
工具、器具及び備品(純額)	662,732	657,224
リース資産	70,000	73,972
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,530	△72,267
リース資産(純額)	3,470	1,705
その他	306,740	357,782
減価償却累計額及び減損損失累計額	△116,976	△132,273
その他(純額)	189,764	225,508
有形固定資産合計	3,162,677	3,400,548
無形固定資産		
のれん	5,910	78,732
ソフトウェア	9,373	8,784
その他	1,625	1,567
無形固定資産合計	16,909	89,085
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
敷金及び保証金	1,180,265	1,413,206
長期貸付金	12,380	12,380
長期前払費用	114,744	121,034
繰延税金資産	61,628	61,628
その他	35,182	35,762
貸倒引当金	△3,399	△3,189
投資その他の資産合計	1,420,800	1,660,823
固定資産合計	4,600,388	5,150,456
資産合計	9,695,065	10,371,879

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	646,430	659,276
1年内償還予定の社債	257,000	237,000
1年内返済予定の長期借入金	1,012,803	1,095,358
リース債務	2,967	1,790
未払金	182,363	164,608
未払費用	696,240	714,107
未払法人税等	393,870	286,048
その他	318,732	398,417
流動負債合計	3,510,408	3,556,607
固定負債		
社債	541,500	473,000
長期借入金	2,891,392	3,176,065
リース債務	684	—
繰延税金負債	12,050	12,050
その他	219,138	210,490
固定負債合計	3,664,765	3,871,606
負債合計	7,175,174	7,428,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	1,546,086	1,952,658
自己株式	△287	△287
株主資本合計	2,516,833	2,923,406
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,033	△3,884
その他の包括利益累計額合計	△1,033	△3,884
新株予約権	2,806	2,806
少数株主持分	1,284	21,337
純資産合計	2,519,890	2,943,666
負債純資産合計	9,695,065	10,371,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,166,485	9,138,337
売上原価	2,235,447	2,759,717
売上総利益	4,931,038	6,378,619
販売費及び一般管理費	4,584,552	5,778,071
営業利益	346,486	600,548
営業外収益		
受取利息及び配当金	394	866
協賛金収入	85,472	106,152
受取補償金	32,827	—
その他	9,494	22,603
営業外収益合計	128,189	129,622
営業外費用		
支払利息	31,367	30,685
その他	11,759	8,979
営業外費用合計	43,126	39,665
経常利益	431,549	690,506
特別損失		
減損損失	—	23,686
特別損失合計	—	23,686
税金等調整前四半期純利益	431,549	666,819
法人税、住民税及び事業税	186,131	265,283
過年度法人税等	130,981	—
法人税等調整額	△108,972	1,353
法人税等合計	208,141	266,637
少数株主損益調整前四半期純利益	223,407	400,181
少数株主損失(△)	△685	△6,391
四半期純利益	224,093	406,572

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223,407	400,181
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△910	△2,850
その他の包括利益合計	△910	△2,850
四半期包括利益	222,497	397,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,182	403,721
少数株主に係る四半期包括利益	△685	△6,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	431,549	666,819
減価償却費	276,433	300,925
長期前払費用償却額	23,214	25,609
支払利息	31,367	30,685
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,183	45,979
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△101,482	△132,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,066	△17,966
未払金の増減額 (△は減少)	2,220	△104,000
未払費用の増減額 (△は減少)	74,484	△13,220
その他	35,701	75,463
小計	790,369	878,153
利息及び配当金の受取額	394	866
利息の支払額	△33,915	△30,475
法人税等の支払額	△342,763	△370,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	414,085	477,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△942,143	△531,946
長期前払費用の取得による支出	△30,796	△30,330
敷金及び保証金の差入による支出	△144,049	△97,228
敷金及び保証金の回収による収入	2,687	2,911
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△34,655
その他	△16,554	△2,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,130,857	△693,836
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△168,980	-
長期借入れによる収入	970,000	960,000
長期借入金の返済による支出	△394,982	△639,372
社債の発行による収入	-	49,345
社債の償還による支出	△108,500	△138,500
少数株主からの払込みによる収入	714	-
その他	△7,003	△3,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	291,248	227,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	△866	△5,065
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△426,389	6,612
現金及び現金同等物の期首残高	3,548,409	3,827,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,122,019	3,834,419

(4) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記事項)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務 諸表計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	489,284	6,677,201	7,166,485	—	7,166,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	694,442	10,200	704,642	△704,642	—
計	1,183,726	6,687,401	7,871,128	△704,642	7,166,485
セグメント利益	92,646	260,734	353,381	△6,894	346,486

(注)1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△492千円及びたな卸資産の調整額△6,402千円です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務 諸表計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	531,443	8,606,893	9,138,337	—	9,138,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	885,321	10,650	895,971	△895,971	—
計	1,416,765	8,617,543	10,034,309	△895,971	9,138,337
セグメント利益	119,951	482,716	602,667	△2,119	600,548

(注)1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△4,351千円及びたな卸資産の調整額2,231千円です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。